

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	歴史学	
科目基礎情報							
科目番号	0154			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報電子工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	池上彰『そうだったのか！現代史』集英社/池上彰『そうだったのか！現代史 パート2』集英社						
担当教員	柏倉 知秀						
到達目標							
(1)第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。		第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に説明できる。		第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に理解できる。		第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 A 2 JABEE a							
教育方法等							
概要		1年次の歴史の授業では講義することのできなかった現代史について講義する。講義では、現代世界が抱えている諸問題について、その歴史的背景をさぐることになる。					
授業の進め方・方法		現代史の重要な項目について、パワーポイントを用いて解説をする。授業で解説した内容の確認のため、自学・自習用の学習シートを毎回配布するので、次回の授業時に必ず提出すること。授業の理解を高めるために、予習復習を必ずすること。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	第二次世界大戦		ヴェルサイユ体制 戦間期の欧米諸国		
		2週	第二次世界大戦		ワシントン体制 戦間期のアジア諸国		
		3週	第二次世界大戦		ファシズム 第二次世界大戦		
		4週	冷戦期の世界		冷戦 ドイツの東西分裂 ヨーロッパ現代史		
		5週	冷戦期の世界		中国と台湾 文化大革命と天安門事件		
		6週	冷戦期の世界		朝鮮戦争 日本現代史		
		7週	冷戦期の世界		東南アジア現代史 ベトナム戦争 カンボジア紛争		
		8週	中間試験		上記の内容から出題		
	4thQ	9週	答案返却など		試験の解答・解説		
		10週	冷戦期の世界		インドとパキスタン アメリカ現代史		
		11週	冷戦後の世界		ソ連崩壊 ユーゴスラヴィア紛争		
		12週	冷戦後の世界		パレスチナ問題 中東現代史		
		13週	冷戦後の世界		湾岸戦争 イラク戦争		
		14週	冷戦後の世界		アフガニスタン アフリカ現代史		
		15週	期末試験		10～14回の内容から出題		
		16週	答案返却など		試験の解答・解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0